



学校だより



令和 6年 1月 30日
羽曳野市立恵我之荘小学校
校長 鳩野 元

大きくなあれ

北陸の地震被害にあった方々への黙祷で始まった始業式。あっという間に2月になりました。まだまだ寒い日が続きますが、保護者の皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

12月に、市役所の方に校内の剪定をお願いした際、危険だということで正門横の桜を伐採しました。「学校には桜がいるでしょっ!」ということで、地域の方にもご協力いただき、ソメイヨシノの苗を入手し、冬休み中に植え付けることができました。「まだ赤ちゃんの木なので大事にしてあげてね。」「自分が〇年生の時に植えた桜か覚えておいてね」と子どもたちにも話しました。10年後20年後、子どもたちの成長に負けなくらいに大きくなってほしいものです。この～木なんの木気になる木～くらいになっても大丈夫な場所に植えてみました。(ちょっと言い過ぎですが…)

先日の児童朝会では、5,6年生が大活躍でした。キャッチボール(大谷選手から寄贈のグローブで)でいい音を響かせてくれ、縄跳びの曲にあわせて見本を見せてくれ、児童会からは、北陸地震に何ができるか考え募金の呼びかけをしてくれました。自然と拍手と「すごい」の音がでていました。

インフルエンザ等の感染が本校でも徐々に広がっています。平日、土日関わらず、お休みすることが決まりましたら、早めに保護者連絡アプリ(tetoru)にてお知らせください。まずは、私たち大人が規則正しい生活ときちんとした食事をとり、免疫力を高めることで子どもたちの見本となりましょう!(と言ってる自分が一番できていないかも…泣)

募金活動を行いました

児童会が主体となって、能登半島の地震に関する募金活動をおこないました。3学期が始まり、児童会が中心となって「何かできることはないか」を考え、1月24日～26日に募金活動をするようになりました。一日も早く、被災された方々が元の生活に戻れますように…児童会が集めた募金をお届けします。



グローブが届きました!

ニュース等で報道されているように、本校にも大谷選手からのグローブが届きました。心待ちにしていた児童も多く、子どもたちは喜んでグローブに触れていました。早速各クラスを順番にまわって、キャッチボールなどをして楽しんでいます。せっかく寄付していただいたものですので、多くの子ども達に実際に触れ、野球に親しみ、大谷選手の思いを感じ取ってもらえるようにしたいと考えています。

